



公設卸売市場長
うちやま たくみ
内山 匠

「イマハナ」コーナー

87
はちじゅう
しち

良質で新鮮な地元の農作物
が集まる公設地方卸売市場

◎ 公設卸売市場 [上長都]

公設卸売市場は、上長都にある千歳市公設地方卸売市場内に事務所があります。市場におけるせり売りなどの取引が円滑に進むように監督や指導を行っているほか、市場の利用許可の手続きや施設の維持管理などの業務を行っています。

市場には千歳やその近郊の生産者から出荷される、良質で新鮮な農産物が集まります。

市場は、生鮮食料品を安定して供給するための流通拠点施設として昭和48年2月に開設しました。現在は野菜や果物を取り扱う青果物卸売市場として、市民の台所を守る大切な役割を担っています。

最近では、流通業者による生産地との直接取引や生産者による直売など、卸売市場を経由しないで取り引きされる農産物が増えたため、市場取扱量は減少する傾向にあります。

公設卸売市場では、市場を取り巻くこのような環境の変化に対応するため、さまざまな調査を行っています。また、卸売業者や買受人などの市場関係者と協議を進め、これからの市場のあり方について検討しています。

【お問い合わせは】

管理係

☎(24) 2 7 0 9

市の組織には、87種類の課(セクション)があります。(平成21年4月1日現在、派遣職員は所属を除く)皆さんは、市役所がどのような「しごと」をしているのかご存じですか？

声② ここ数年、世界の各地で大きな地震が発生し、たくさんの方が犠牲になつた。千歳でも大きな地震が発生する可能性があるという事実は、皆さんがご存知ですか？



ここ数年、世界の各地で大きな地震が発生し、たくさんの方が犠牲になつた。千歳でも大きな地震が発生する可能性があるという事実は、皆さんがご存知ですか？

市の耐震化計画は進んでいるの？

《40歳代女性》



市は、地震から市民の生命や建物などの財産を守ることを目的として平成20年度に「耐震改修促進計画」をつくり、建築物の耐震化を進めています。

平成27年度までに、住宅やたぐさんの方が利用する建築物の耐震化率を90パーセント以上にすることを目標としています。

市は、災害が発生したときに避難場所となる学校やコミュニティセンターなどの建築物を優先して、耐震性の診断

や耐震改修工事を行っています。学校の耐震化は平成17年度から計画的に進めており、平成25年度までにすべての学校の耐震改修を行う予定です。また、個人の住宅などでは、昭和56年5月以前に建設された、一定の条件にあてはまる木造住宅について、耐震診断費用の一部を助成する制度があります。

助成制度の内容や市が進める耐震化計画については、広報ちとせ6月号の特集記事で紹介していますのでご覧ください。これからも皆さんが安心してくらすことのできるまちづくりを進めます。

建築課建築指導係
☎(24) 0 7 5 1



「パブリックコメント 手続」って何ですか？

「パブリックコメント手続」は市が重要な施策などを決めるときに、その内容をよりよいものにするため、事前に趣旨などを公表して市民などから意見をお聞きする制度です。お寄せいただいた意見に対する市の考え方などは、市のホームページで公表します。なお、意見を募集する施策案は市役所やコミュニティセンターなどの公共施設、市のホームページで公表します。積極的にご意見をお寄せください。

【詳細】 広報広聴課広聴係 ☎(24) 0 1 0 8

【ワンポイントメモ】

地震はいつどこで起こるかわかりません。家族や自分のために地震へ備えることが必要です。広報ちとせ6月号号外の「地震防災マップ」で、危険度や揺れやすさなどを確認しておきましょう。また、耐震診断の出前講座や窓口相談も行っていますので、活用してください。



「いまさら、なかなか聞けないわ」ということはありませんか？小さなことでも、正しく理解していただくために、「イマハナ」コーナーでは、皆さんのささやかな疑問にお答えします。